学校番号	T0301

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「家庭総合」　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

国際化、情報化、科学技術の発展、環境問題、少子高齢化の到来など、社会の状況が大きく変化する中で、あなたはどのような人生観、生活観、価値観を持って生きていこうと考えますか。この教科では、生活に関する知識や技術を身につける一方で、それらの持つ意味やある方を人の一生との関わりの中で考えて行きます。また生活者としての立場から実際の生活を見つめ、課題を発見し、改善していけるような実践的な力を養う事を目的とします。知識や技術をしっかり身につけるとともに、自分の生活をより良いものに作り変えていく楽しさを感じてください。そして「自分らしいライフスタイル」を探求し、より主体的に人生を送って行けるよう学習に取り組んで下さい。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
健康・快適・安全な衣食住、持続可能な社会を構築することなどを主体的に営むために、食生活を取り巻く課題、食の安全と衛生、日本と世界の食文化など食と人との関わりや、被服と人との関わりを理解している。
【思考力、判断力、表現力等】
食生活や被服材料・被服製作など実践的・体験的な学習を通して課題を見いだし、将来の自分の生活をイメージしながら、積極的に課題を解決しようとする力を身につけている。
【学びに向かう力、人間性等】
持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費及び生活文化について考察し、実践または実践しようとしている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、衣、食、住・消費、環境などについて理解を深め、目的や状況などに応じて、これらを適切に活用できる知識や技能を身に着けている。	生涯を見通して、家庭及び地域、社会における生活の中から問題を見出し、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善して、考察に基づいて論理的に表現することができ、その課題を解決する力を身につけている。	よりよい社会の構築に向けて、さまざまな人々とかかわり、課題の解決に主体的に取り組んだり、改善策を検討し、地域社会とかかわる中で、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第9章消費行動を考える	2 消費生活の現状と課題 ① 「買う」ことは「契約」 ② 多様化する販売方法 ③ 適切な契約 ④ 支払い方法の多様化と消費者信用 3 消費者の権利と責任 ① 消費者の権利を守るために ② これからの消費者	a. 消費行動における意思決定の家庭とその獣医要請について理解でき、契約についての知識を身につけている。 b. 多様化する販売方法や支払い方法について問題点や解決策を考え、判断することができる。 c. 適切な契約についての知識を深め自らの学習を調整しながら学ぼうと努力している b。	定期考査	レポート	レポートb
	第7章	衣生活をつくる 1節人と衣服 ① 人と衣服 ② 衣服の機能 ③ 快適な衣服 ④ 衣服の安全 2節　衣服の素材の種類と特徴 ① 衣服素材の種類 ② 衣服素材の性能 ③ 衣服素材の改善 3 エプロンを作ろう	a. 衣服が持つ機能や安全性についての知識を身につけた上で快適な衣生活についておおよその理解をしている。 調理実習で用いるエプロンを指定通りに提出することができる。 b. なぜ人間は服を着るのかに「ついて関心を持ち、考察することができる。 c. 1節 start Activity での問かけに対して、答えることができる。	定期考査 レポート	レポート	課題（エプロンを完成させる）
		衣服の選択から管理まで	a:衣服の選択・購入から管理には計画性と確認が必要であること衣を十分理解している。	定期考査	レポート	レポート

		持続可能な衣生活をつくる	:私たちの衣生活は環境や社会とつながっていることを認識し、自分たちも関わっていることを十分理解している。 ・衣生活における SDGs、エシカル消費、ファッション等の意味を理解している。 b:現在の衣生活を取り巻く状況から、自分の生活を振り返ることで課題が見つかるとイメージできる。 ・不要になった衣類をリサイクルに回す、作りかえるなど実生活で実践することができる。 c:環境に配慮した衣生活にかかわるキーワードとその内容を知り、できることを自分の生活に取り入れようとする。	定期考査 レポート	レポート	課題
		私たちがつなぐ衣生活の文化	a:私たちの衣生活は環境や社会とつながっていることを認識し、自分たちも関わっていることを十分理解している。 ・衣生活における SDGs、エシカル消費、ファッション等の意味を理解している。 b:現在の衣生活を取り巻く状況から、自分の生活を振り返ることで課題が見つかるとイメージできる。 ・不要になった衣類をリサイクルに回す、作りかえるなど実生活で実践することができる。 c:環境に配慮した衣生活にかかわるキーワードとその内容を知り、できることを自分の生活に取り入れようとする。	プリント 定期考査	レポート	課題

		衣服をつくろう	a:立体構成と平面構成があることと、その違いを理解している。 ・衣服製作に必要な手縫い・ミシン縫いの技術や用具の使用方法がわかり、政策に生かすことができる。 b:着用目的に合わせてデザインし、形や素材・柄などの要素を考えながら自分らしさを表現して製作することができる。 c:衣服実習において、作品を完成させる達成感を味わいながら、製作活動に取り組んでいる。	プリント レポート 課題 定期考査	レポート作成 柄やデザインなどの自己表現 ・ミシン掛け(指示通りに縫えているか)	課題製作の提出
		期末考査				
	第6章 食生活をつくる	1 人と食物のかかわり ① 人は何を食べてきたか ②日本の食文化の形成	a:気候風土や宗教による多王政を栄養や調理方法と関連づけて理解を深めている。 ・日本の食文化の形成と和食の特徴についてマナーと配膳などの重要性を十分理解してマナーと配膳の仕方を正しく身につけている。 b:Start Activity での問いかけに対して、各国の気候風土や文化の違いを踏まえて食材の入手・調理方法についても説明できる。 日本の食文化の特徴についての情報を収集し、まとめ、説明できる。 c:和食の配膳とマナーを正しく身につける工夫をしながら、和食の良さを伝承しようとしている。	プリント レポート 定期考査	レポート 定期考査	パフォーマンス課題 プリント) 振り返り)

		2 私たちの食生活	a:Start　Activity 食生活チェックの背景を理解し、自身の食生活の現状を捉えることができる。 b:グラフを読み取り、健康寿命を延ばすための課題を見出すことができる。 ・体重減少だけを目標とするダイエットのリスクを理解し、ダイエッターの心理状態を考慮したうえで具体的な行動を考え、グループで意見交換しながら改善の具体的な方法を工夫している。 c:Start Activity などを通して食生活の課題を見いだし、その課題を踏まえて健康で豊かな食生活を築くための具体的な行動を考え、グループで意見交換しながら改善の具体的な方法を工夫している。	定期考査	レポート	パフォーマンス課題
		③栄養と食品のかかわり	a:栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての知識を身につける。 ・各栄養素の働きについて理解している。 b:自分の食べた食事を栄養素に分類することができる。 ・各栄養素の働きを理解し、バランスの良い摂取方法を考察している。 c：実習などを通して、食品と栄養、ちょうりの関係において、知識を深めようとしている。			
		④食品の選び方と安全	a：食品表示を正しく読み取ることができる。 ・食中毒の種類と個々の予防法を理解できる。 ・食品添加物の種類の意味と基準、種類、利用例を理解できる。 b:旬の食材を上げ、その料理法を考えることができる。 ・食品表示を読み取ることができる。 ・食中毒の予防法を考えることができる。			

			c:食品表示を正しく読み取ろうとしている。 ・食中毒の原因や予防策、食品添加物の種類とその選択を理解しようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度